

令和6年度 事務事業評価シート（二次評価）

※令和5年度に実施した事業を評価しています
 完了事業 ゼロ予算事業 評価事業 実計事業

事務事業名 (中事業)	粗大ごみ収集			予算事業名 (大事業)	環境プラザ管理事務
予算科目	04-02-01-05-03-00			会計区分	一般会計
事業期間				新規・継続区分	継続
事業区分	経常的事務事業	費用区分	市費	重点事業	—
部名	環境部			課長名	林 淳二
課名	資源循環推進課				

1 位置づけ等

総合計画	分野別計画	環境			
	施策	36 循環型社会の構築 (目的) 資源の循環的な利用を促進し、環境への負荷を減らしたまちを実現すること。			
	取組施策	03 一般廃棄物の適正処理			
個別計画名		なし			
根拠法令条項、 条例、要綱名等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、川越市廃棄物処理及び再生利用に関する条例、川越市廃棄物処理及び再生利用に関する規則			法令による 実施義務	有
補助金、 交付金要綱名等	なし			上乗せ 横出し	無
関連事業	なし				

2 事業の目的と内容

実施主体	市（直営）	対象（誰・何を対象に）	市民
事業目的 (対象をどのよう にしたいのか)	ごみ集積所に出せない粗大ごみについて、戸別収集を行い、市民サービスの向上を図る。		
事業の内容 (事業目的を達成す るために、具体的に どのようなことを行っ ているのか、また、 行ってきたのか)	<p>集積所に出せない粗大ごみを有料で戸別収集する。また、高齢者世帯、障がい者等で屋外に搬出できない場合は、搬出支援を行う。</p> <p>【粗大ごみ収集】</p> <ol style="list-style-type: none"> 一般家庭ごみで、集積所での排出では取り扱いのない廃棄物（粗大ごみ）の処分について、電話連絡を受ける。 粗大ごみ収集対象物か否かの確認、対象物の場合、数量等を聴き取り、収集料金の確認、収集日の設定を行う。 設定した日に市トラックで収集に伺う。当日、立会いのもと収集料金を受ける。 (1回の予約は5点まで。収集料金は1点につき500円から2,000円。) <p>※戸外搬出にかかる「粗大ごみの搬出サポート事業」、 当日立会いにて収集料金を受けられない場合の事前支払い制度あり</p>		
事業実施の成果 (効果・予測)	資源化センター、東清掃センターへ粗大ごみを自己搬入できない市民が、適正な廃棄物処理を行うことができ、不法投棄の減少も期待できる。		
事業実施にあたっての課題	年々依頼件数が増加しているため、受付から収集日までに要する日数が長期化している。		

3 指標

成果指標	名称		粗大ごみの戸別収集の点数		単位	点	出典	目標年度
	指標値		令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	
			予定	実績		10,200	10,200	
			0	10,000		10,200	10,200	
			10,098	10,309		10,215		目標値
		単位当たり費用	0	6.235		6.302		10,200
活動指標	名称		粗大ごみの戸別収集の件数		単位	件	出典	目標年度
	指標値		令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	
			予定	実績		5,300	5,300	
			0	5,200		5,300	5,300	
			5,290	5,442		5,328		目標値
		単位当たり費用	0	11.811		12.082		5,300

4 他市との比較等

(1) 比較参考値（他市での類似事業の例など）
(直営による事業実施) 所沢市, 狭山市, 鶴ヶ島市 (委託による事業実施) さいたま市, 川口市, 入間市
(2) これまでの見直しや改善等の経過
収集品目の追加、変更等

5 実施にかかるコスト

(単位:千円)

		令和3年度(決算額)	令和4年度(決算額)	令和5年度(決算額)	令和6年度(見込額)
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	分割金・負担金	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	276	297	341
	基金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	64,000	64,077	64,000
財源合計		0	64,276	64,374	64,341
人件費 (A)		0	64,000	64,000	64,000
	正規職員(1年間の従事人数)	0	8	8	8
	会計年度職員(1年間の従事人数)	0	0	0	0
事業費 (B)		0	276	374	341
	需用費	0	195	180	230
	役員費	0	81	82	95
	負担金、補助及び交付金	0	0	84	12
	その他	0	0	28	4
総事業費合計 (A) + (B)		0	64,276	64,374	64,341

6 評価

項目	評価結果	主な評価の視点	主な評価コメント及び課題等
必要性	A	法令等によりサービスが義務付けられている事業(○の場合はA評価)	粗大ごみの戸別収集の実施は市民の生活に必要である。
		国や他市と比較しサービス水準の見直しの余地がなく、他市で廃止・見直しが進んでいない	
		国・県で同種のサービスが行われていない、上乘せ・横出しの事業ではない	
有効性		総合計画の取組施策への記載があるか(○の場合はA評価)	
		施策の指標目標達成に関係があるか(○の場合はA又はB評価)	
		施策目的達成のために必要な事業か	
達成度	A	設定した活動・成果指標の目標(予定)を達成しているか	目標を達成している。
効率性	D	適切に直営で行っている。一部又は全部委託し、適切に委託を行っている。コスト削減の余地はないか(経費・人員・手法)	【直営業務について】行うべき事業であり、最小限の人数で実施している。 【今後について】委託等も含めて検討していく。
		受益と負担(補助)の適正化が図られているか	
総合評価	B	粗大ごみの戸別収集事業は市民にとって必要な事業であり、最小限の人数で実施しているが、実施手法によっては効率化が見込めるため、システム化、手数料の見直し、委託等も含めた事業改善を検討する必要がある。	

7 今後の方向性及び今後の取組み(改善策など)

今後の方向性	改善
令和6年度	市民の生活に必要な事業のため引き続き粗大ごみ戸別収集事業を実施しつつ、システム化、手数料の見直し、委託等も含めた事業改善を検討する。
令和7年度	市民の生活に必要な事業のため引き続き粗大ごみ戸別収集事業を実施しつつ、システム化、手数料の見直し、委託等も含めた事業改善を検討する。